

27 Jan, 2022

横浜グローバルMICEフォーラム

The 3rd YOKOHAMA Global MICE Forum

- Reimagining the Destination of Choice for Business Events -

選ばれる開催地であるために

COVID-19の世界的な感染拡大により、多くの会議・イベントが中止・延期を強いられた2020年。その中でもオンライン会議システムや仮想空間を利用したバーチャル開催、ハイブリッド会議、XRの導入などが試みられ、今やMICEのランドスケープは一変しました。テクノロジーはこの先も、ビジネス・イベントのあり方、発展の可能性を豊かに広げていくはずですが、一方で、対面のコミュニケーションでしか実現することのできない価値があることも明らかです。

同時に、これからのMICEの復活・再生は、コロナ禍が浮き彫りにした様々な現代の課題を見つめなおし、克服しつつ、イベントの開催がより良い社会の実現に貢献することを目指し、進んでゆくべきと考えます。

そのような中で、MICE開催地への期待はどのように変化していくのか、MICEパートナーとして選ばれる存在であるにはどうあるべきか、日本と世界のMICEプロフェッショナル達が、現地会場とオンライン上に集い、MICEの未来について議論を交わします。



Forum supporters

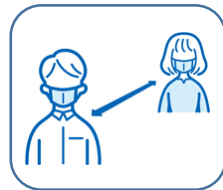


Forum partners



本フォーラムは、パシフィコ横浜の「[感染防止ガイドライン](#)」「[安全・安心な横浜MICEガイドライン](#)」に準拠して開催いたします。

FLOOR MAP - PACIFICO Yokohama North 4F





Forumウェブサイト



詳細プログラム

| From | Ends | Function | Topic | Speaker | Contents / Key takeaway |
|-------|---------|--|--|---|---|
| 9:30 | - | 受付 | | | |
| 10:00 | - 10:45 | Outside the Box [会場] [日本語のみ] | 心を整える～坐禅体験 | 曹洞宗 大本山總持寺 参禅室長 花和 浩明 老師 | 情報の嵐に翻弄される脳と疲れた心を、会議の前にしなやかに整える。 |
| 11:00 | - 12:00 | 大人のための ブレ・カンファレンス講座 [会場][オンライン] [オンデマンド] [日本語のみ] | 世界計算力学会議 WCCM-APCOM YOKOHAMA 2022編 ～計算力学って何を計算しているの？～ | 越塚 誠一 教授 (東京大学、WCCM-APCOM 2022議長) 寺田賢二郎 教授 (東北大学、 WCCM-APCOM 2022事務局長・副議長) 井上 岳 氏 (サイバネットシステム株式会社 CAE第1事業部 技術支援部 部長) | 2022年7月に横浜で開催される第15回世界計算力学会議(WCCM-APCOM 2022)を前に、そもそも「計算力学ってどんな研究？」という素朴な疑問に答える、会議に親しむ素人のための講座。 |
| 12:00 | - 13:00 | [Lunch] [会場] | ランチ試食会 | | Powered by ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル |
| 13:00 | - 13:10 | オープニング [会場][オンライン] | | | |
| 13:10 | - 13:40 | オープニングキーノート [会場][オンライン] [オンデマンド] | 国際会議とともにあるグローバル・ コミュニティ ～ ACM CHI 2021 Onlineの 開催経験 | 北村 喜文 教授 (東北大学 電気通信研究所、副所長 ACM CHI 2021 General Chair) | |
| 13:40 | - 13:45 | [Mini break] | | | |
| 13:45 | - 14:45 | セッション 1 [会場][オンライン] [オンデマンド] | コロナ禍からの より良い復興をめざして | 1. フランク・ヤン CMP, CEM, PMP, DES 氏 (ディレクター、コンベンション・マーケティング, KINTEX) 2. 井上 義則 氏 (株式会社八芳園 取締役社長) | [Risk Management][Meeting Design][SDGs] 対面での交わりでしか実現できない“リアル”な体験を実現するために、コロナ禍においても起こりうるリスクを想定しながら、イベントの舞台となる会場では様々な対策が試みられてきました。このセッションでは、主催者として参加者に安全・安心を提供すると共にイベント参加の楽しさ・満足感を追求したグッド・プラクティスを紹介。 |
| 14:45 | - 14:50 | Pitch [会場][オンライン] | GBAC STAR™ 認証プログラムのご案内 | 川村 育太郎 氏 (サクラインターナショナル株式会社 事業推進室 室長) | |
| 14:45 | - 15:15 | [Water Cooler Chat & Coffee Break] | | | |
| 15:15 | - 16:15 | セッション 2 [会場][オンライン] [オンデマンド] | アジア・パシフィックの MICEの未来 co-hosted by JCMA  | 1. ワイキン・ウオン 氏 (ICCAアジア・パシフィック事務局長) 2. ヒョイン・ソン 氏 (アシスタントマネージャー、コンベンション・マーケティング, KINTEX) 3. アシュウィン・グナセケラン 氏 (ICCAアジア・パシフィック部会長、 パナコンベンション&イベントソリューション・ビルド-CEO) 4. 武内 紀子 氏 (JCMA代表理事、 株式会社コングレ 代表取締役社長) | [Next Generation][Tech][Meeting Design] アジア・パシフィック地域におけるMICE復興に向けた最新動向を紹介。さらに、次世代が展覧するビジネス・イベントの未来を探る。 |
| 16:15 | - 16:20 | Pitch [会場][オンライン] | ユニバーサルサービスについて | 伊藤 慎抄子 氏 (ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 人事担当マネージャー) | |
| 16:15 | - 16:45 | [Water Cooler Chat & Coffee Break] | | | |
| 16:45 | - 17:45 | セッション 3 [会場][オンライン] [オンデマンド] | 選ばれる開催地であるために | 1. 廣瀬 明 教授 (東京大学、 IEEE IGARSS 2019 Yokohama組織・実行委員長) 2. カローラ・ファン・デル・フーフ 氏 (COO & コンgress・ディレクター、国際薬剤師・薬学連合 [FIP]) | [Destination][Partnership] 会議主催者はどのような期待をもって開催地を選ぶのか、開催地はいかにイノベーションを創出する交流のプラットフォームとしての役割を果たせるか、MICE開催が地域コミュニティに与える影響力について、アフターコロナの本格的なMICE再開を見据えて会議主催者と共に考える。 |
| 17:45 | - 17:50 | クロージング [会場][オンライン] | | | |
| 17:50 | - 18:30 | | ※ 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、レセプションの開催は中止いたします。お帰りにお土産をお持ち帰りください | | |

ACCESS to the Online platform

- ◆ フォーラムのバーチャル会場はZoom Eventsとなります。Zoom Eventsの利用には、ZoomアカウントおよびZoomアプリのダウンロードが必要です。ブラウザ上ではご利用いただけません。
- ◆ スマホ/タブレットでご利用の場合は、Chat/Q&Aへの書き込みができず、視聴のみ可能となります。
- ◆ ご登録のEmailアドレスに送付の招待リンク、スマホ/タブレットの場合は、右のQRを読み取り、Zoom Eventsのイベント会場にRegistrationしてください。
- ◆ Zoom Eventsへの参加方法については、右のURLよりガイダンスをご参照ください。

Zoom Events
Forumサイト

Zoom Events
参加マニュアル





1986年東京大学大学院工学系研究科原子力工学専攻修士課程修了。東京大学助手／講師／助教授を経て2004年より現職。研究テーマは、数値流体力学、粒子法、物理ベースコンピュータグラフィックス、原子力工学。プロメテック・ソフトウェア株式会社 取締役（2005-現在）。日本原子力学会 計算科学技術部会 部会長（2013-14）。日本計算工学会 会長（2014-16）。日本機械学会 計算力学部門 部門長（2018-19）。日本機械学会 理事（2020-）。日本学術会議 連携会員（2011-）。日本学術会議 計算科学シミュレーションと工学設計分科会 委員長（2017-）。IACM General Council Ordinary Member（2014年-）。APACM, General Council Member（2016-）。2022年にバンフィコ横浜で開催予定の国際会議WCCM-APCOM 2022 議長に就任。

越塚 誠一 教授

東京大学 大学院工学系研究科 システム創成学専攻、WCCM-APCOM 2022 議長



1990 年名古屋大学工学部土木工学科卒業。1991 年清水建設株式会社退社。1996 年ミシガン大学工学研究科機械工学・応用力学博士課程修了、東京大学大学院工学系研究科 助手、1997年東北大学大学院工学研究科 講師・助教授・准教授を経て、2012 年より現職。
専門分野は計算力学全般。特に、マルチスケール解析、マルチフィジックス解析、破壊シミュレーション、災害シミュレーション等のための数値解析手法に関する研究。日本計算工学会会長、International Association for Computational Mechanics (IACM) 副会長、土木学会応用力学委員会 委員長等を歴任。現在はIACM評議会委員、非線形CAE協会理事、Asian Pacific Association for Computational Mechanics 総務会委員。第14回・15回計算工学講演会 実行委員会 委員長、13th WCCM 副議長、2nd International Workshops for Computational Mechanics (IWACOM-II)議長等を務めてきた。日本政府観光局のMICE アンバサダーにも認定されている。

越塚 誠一 教授

東北大学 災害科学国際研究所 教授・所長補佐、WCCM-APCOM 2022事務局長・副議長



東北大学 電気通信研究所 教授。博士（工学）。1987年大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了。同年キヤノン株式会社、1992年ATR 通信システム研究所、1997年大阪大学大学院工学研究科／情報科学研究科 助教授／准教授。2010年より現職。2018年より副所長。ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、バーチャルリアリティに関する研究に従事。国際会議IEEE VR、3DUI、JVRC、ICAT、EGVE、ACE、ACM VRST、ITS/ISS、SIGGRAPH Asia、CHI 等でいろいろな役割を務めてきた。例えばSIGGRAPH Asia 2015 Conference Chair、CHI 2021 General Chair等。VRST、3DUI、SIGGRAPH Asia、ICAT、EGVE、CHI 等でSteering Committee委員も務め、その中で2015年からVRST Steering Committee Chair。国際的な学会組織では、IFIP TC-13 日本代表、Liaison for Japan and Chair of ACM SIGCHI Asian Development Committee (2015-2021年)、Chair of Japan ACM SIGCHI Chapter 等を務めている。日本政府観光局のMICE アンバサダーにも認定されている。

北村 喜文 教授

東北大学 電気通信研究所 副所長、ACM CHI 2021 General Chair



2004年に、韓国最大の展示会場KINTEXに入社以来、営業・マーケティング、展示会運営、営業開発などの分野で幅広い経験を積み、EIC (Events Industry Council) ナレッジ委員会委員、韓国国際MICE協会 (Korea MICE Association) 国際委員会委員を務める。
近年では、安全なイベント開催のために実施された、感染症流行下における会場再開の革新的なフレームワークが評価され、2020年のICCA (国際会議協会) ベスト・マーケティング・アワードを受賞。2019年には、KINTEXで開催のゲーミングショー「PlayX4」で展開したインフルエンサー・キャンペーンによってUFI (国際見本市連盟) マーケティング・アワードを、また、ビジネスイベント業界への貢献が認められ、EIC (Events Industry Council) のPacesetter Awardを受賞するなど、韓国人として初めてこれらの賞を受賞したことで注目を集めている。

フランク・ヤン CMP, CEM, PMP, DES 氏 (韓国) Mr. Frank Yang

ディレクター、コンベンション・マーケティング、KINTEX



2003年八芳園入社。年間挙式披露宴組数を1000組前後まで下げていた八芳園を、4年で2000組までV字回復させ、その後6年連続で達成。
2008年 取締役常務総支配人、2013年 取締役専務総支配人を経て、2021年10月に取締役社長に就任。
八芳園事業で培ってきたイベントのプロデュース力とクリエイティブ力を活かし、日本文化の継承と創造をテーマに、MICE産業へ参入。地方自治体と連携し「食」と「人」の交流事業のプロデュースを行うなど、八芳園施設外でのイベントプロデュース実績を着実に積み上げる。
現在は、総合イベントプロデュース企業として、社会課題解決に貢献するため人の交流の場にDXを実装させ、リアル空間とデジタル空間を組み合わせたハイブリッド空間での新しい交流の未来創造に着手し、サステナブルなホスピタリティサービスコンテンツ創造を指揮している。
東京都DMO GATEWAY新品川 事務局長

井上 義則 氏

株式会社八芳園 取締役社長



クアラルンプールや香港、台北、上海をはじめとしたアジア・パシフィック地域において、約20年にわたりミーティング業界に従事。大手製薬企業や、国内および地域の医学系会議を担当するとともに、主要なオピニオンリーダー、政府機関、業界の専門家と密接に連携をするなどして、協会運営にも豊富な経験を持つ。
また、誘致や会議運営における効果的なコミュニケーション戦略や、会議業界や学協会における若いプロフェッショナルを対象とした教育プログラムの構築など、幅広い経営管理の経験も有する。

現在、国際会議協会 (ICCA) のアジア・パシフィック事務局長を務めている。

ワイキン・ウォン 氏 (マレーシア) Ms. Waikin Wong

国際会議協会[ICCA]アジア・パシフィック事務局長



2017年にKINTEXでのキャリアを開始、現在は、KINTEXでの国際的イベントや国内の企業イベントの誘致活動に従事している。その経験と知識を活かし、2021年5月より、アジア・パシフィック部会を代表して、ICCAのFuture Leaders Councilの第1期メンバーとして活躍。

ヒョイン・ソン 氏 (韓国) Ms. Hyo-In Son
アシスタントマネージャー、コンベンション・マーケティング、KINTEX



ペナンにおけるビジネス・イベント業界の発展と成長を目的として設立された、マレーシア北部における初の州のコンベンション・ビューローであるPCEBのCEO。PCEB所属以前には、Destination Resorts & Hotels (マレーシア) の団体セールス&マーケティング部長補佐を務めた。ペナン生まれ、ペナン育ち。スイスのホスピタリティ専門大学IMI (International Management Institute) にて国際観光学の修士号を取得後、ペナン州観光局に勤務。15年以上にわたる豊富な業界経験をもとに、観光、ホスピタリティ・マネジメント、収益分析、イールド・マネジメント、ターンアラウンド戦略、事業開発、ビジネス・ツーリズムにおける知見をPCEBに活かしている。国際会議協会 (ICCA) アジア・パシフィック部会長、およびマレーシア委員会会長。

アシュウィン・グナセケラン氏 (マレーシア) Mr. Ashwin Gunasekeran
ICCAアジア・パシフィック部会長 / ペナン・コンベンション&エキシビション・ビューローCEO



大阪大学人間科学部卒業。1990年コングレ設立に参画。国際会議、博覧会、MICE施設、文化施設の営業などに携わり、2001年に取締役営業企画部長に就任。常務取締役、代表取締役専務を経て、2013年6月から現職。2015年JCMA設立時から、代表理事、副代表理事等を務める。

一般社団法人日本経済団体連合会 審議委員会副議長・観光委員会委員長
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 理事

武内 紀子 氏
一般社団法人日本コンベンション協会 (JCMA) 代表理事、株式会社コングレ 代表取締役社長



1991年に東京大学で工学博士の学位を取得。1987年に東京大学先端科学技術研究センター(RCAST)・光デバイス分野・助手に着任、1991年に同センター・高速電子デバイス分野・講師となった。1993年から1995年まで、ボン大学神経情報研究所(ドイツ)の客員研究員(日本学術振興会・海外特別研究員)として研究を行った。1995年 東京大学先端科学技術研究センター助教授、1999年同大学院新領域創成科学研究科基盤情報学専攻助教授を経て、2007年同大学院電気系工学専攻教授となり現在に至る。この間2006-2008年に宇宙航空開発研究機構(JAXA)宇宙科学研究所(ISAS)客員准教授を併任した。主にニューラルネットワークとワイヤレスエレクトロニクスを中心とする研究を行っている。

現在、IEEE Computational Intelligence Society (CIS) Neural Networks Technical Committee (NNTC) メンバー(2009-)、APNNA/APNNS 理事(2006-)、IEEE World Congress on Computational Intelligence (WCCI) 2024 Yokohama 組織・実行委員長などを務めている。IEEEフェロー、IEICEフェロー、JNNSおよび APNNSの会員。

廣瀬 明 教授
東京大学 / IEEE IGARSS (International Geoscience and Remote Sensing Symposium) 2019 Yokohama組織・実行委員長



146か国の薬剤師・薬学研究者協会をたばねる世界的な連合体である国際薬剤師・薬学連合 (FIP) のCOOおよびコングレス・ディレクターを務め、組織の日常業務を監督し、内部プロセスを強化することで、非営利団体の成長とミッションの達成を支援する役割を担っている。アムステルダム (オランダ) のHigher School of Economicsの国際ビジネス専攻を卒業、FIPに加わる前は、16年以上にわたりPCOとして従事。

AC Forum次期会長 (2022年1月22日に会長に就任予定)、オランダのプレ・ファイナンス&保証基金会長。PCMAより、2019年のGlobal Business Events Executive of the Yearに選出。

カロラ・ファン・デル・フーフ 氏 (オランダ) Mrs. Carola van der Hoeft
COO兼コングレス・ディレクター、国際薬学者・薬学連合[FIP]

PITCH - Session 1 とSession 2 に続いてPitchを行います。お二人のスピーカーには、休憩中フオワイエにて、Q&Aおよび意見交換にお付き合いいただけます。



GBAC STAR™ 認証プログラムのご案内

川村 育太郎 氏
サクラインターナショナル株式会社
事業推進室 室長



ユニバーサルサービスについて

伊藤 慎抄子 氏
ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル
人事担当マネージャー